

1. 出展参加の背景と意義

- これまで世界に先駆けて新たな社会システムや産業、製品等を数多く生み出してきた大阪。民の力が社会を支える仕組みも大阪発で発展してきた。万博のテーマを実現していくうえでも、大阪の知恵と技術力、行動力はなくてはならない。
- 出展を通じて、大阪を世界にアピールするとともに、新たなイノベーションの創出及び生活の質（QOL）の向上、さらには、大阪の成長・経済発展に寄与する。

2. 出展でめざすもの

世界に貢献する大阪の姿を示す

- 生活の質（QOL）を向上させる展示
- SDGs達成に貢献する姿を示す
- 未来社会のモデルを提案

大阪のパワーを世界に発信

- 世界中からのアクセスを実現
- 大阪の魅力を世界に発信

3. 出展参加のテーマ

REBORN（リボーン）

【テーマに込めた意味】 **“「人」は生まれ変わる”、“新たな一步を踏み出す”**

4. テーマ展開の方針

- (1) 生活の質（QOL）の向上に資する新たな価値創造
- (2) 生き活きと元気に楽しく生きる提案
- (3) サイバーとフィジカルが融合した新しい社会を提案

5. 出展参加の主体 ～産学官民の力を結集～

(1) 産…産業界・企業之力

様々な共創やチャレンジを積み重ね、大阪の企業の誇りと実力を世界に示す。

(2) 学…教育・研究機関之力

若い世代の研究成果や知恵のアピールの場、活躍の場となることを目指す。

(3) 官…自治体之力

各地のブランディングやアイデンティティ、ポテンシャルの内外へのアピール、地域発展を目指す。

(4) 民…府民・市民之力

イベント・催事等への参加機会を府民・市民に提供。来場者との交流やネットワークの構築、自己実現の場となることを目指す。

6. コンテンツ等の基本的考え方

出展参加テーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から、大阪の強みを活かして、ワクワクしながら明るい未来を感じられる展示・催事を実現。

- ・最先端の医療技術やライフサイエンス産業が創り出す近未来への期待を高める
- ・食や文化、観光などによる交流を促進する場とする

7. パビリオンの構成等

- (1) エントランスゾーン
- (2) 展示・体験ゾーン
- (3) イベント・交流ゾーン
- (4) サービス・食体験ゾーン
- (5) 他の万博会場施設等における展開
- (6) バーチャル大阪館（仮称）

8. 施設の位置及び規模

来場者が訪れやすい位置、出展内容の具体化にあわせた規模を検討。

9. レガシー

ハード・ソフト両面について具体的な検討を進め、取り組んでいく。